

平成31年度令和元年度事業報告

特定非営利活動法人ハニー・ビー

I 事業期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

II 事業の成果

平成31年度・令和元年度（2019年度）は、法人10周年ということもあり、原点回帰して、将来の自立（または自律）をどのような形で表現していくのか、寄り添えるのかを考えて活動をしました。それぞれの事業所で対象が異なるご利用者がある中で、「役割を持って生きる」ことが大切ではないかと考えて創意と工夫を凝らしました。しいては、就学中のうちから個々人の特性を踏まえてそれぞれの自立に向けた療育支援を「障がい」があっても社会参加は当たり前」のミッションに基づき、ハニー・ビーにしか出来ない親亡き後を見据えての支援を各事業で活動しました。

通所事業所に関しては、豊中市においても沢山の事業所が乱立し、保護者のニーズで、「長く預かってほしい」との声に応えることがサービスの質だと勘違いが起きるという状況下で、2010年に「親亡き後も社会の中で生きていくために」と考え、豊中市民間初の現在の放課後等デイサービスを立ち上げたところからのわたしたちが経験と「こうあってほしい」と思いを体験値という力にして、マイ児童デイサービスそれぞれの事業所において、小さな集団療育でのプログラムから将来への生きる力を培うと信じて進めていく中で、今は難しくとも将来を見据えて、寄り添いながら障がいのあるなしに関わらず、地域社会で共にあるべき姿をめざしていくようサービスの充実を図りました。

また、相談支援センターハニー・ビーでは、昨年度同様に支援の航海図となる「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に基づく一般相談支援事業と「児童福祉法」に基づく障がい児相談支援事業の充実を図りました。一人ひとりに丁寧に向き合うことから、利用者とその保護者のニーズや困りごとをしっかり聞き取る（傾聴する）場面を大切にしながらも、今までと違った提案、実際行政などとも連携をしながら現在の生活をより充実した、将来を見据えての生活が思い描ける支援に心がけ、引き続きアソシエイト介護サービスでの個別支援やマイ児童デイサービスでの小集団での支援と連携することによって、サービス質の向上を図りました。また、スタッフ研修に力を入れることで、個人のスキルアップにも繋がったと思っています。

アソシエイト介護サービスでは、『ご利用者様にとってのよりよいサービスの提供』とは何かを考えて、サービスを提供することは勿論ですが、イメージが難しい将来のなりたい、自分を見つけるための提案から一緒に関わる関係性作りをめざしました。ご提案すること 자체が、ご利用者様、ヘルパー双方にとって少し負担になることもあります、サービスの在り方に「諦めない姿勢」の成果が見られました。当初の提案時には、「そんなこと、うちの子に出来る訳がない」と消極的だった保護者の方も、少しずつ笑顔が増えるなどの嬉しい変化が導かれることで、「もしかしたら出来るかも、将来への希望」が感じられたことで、結果的には利用者、家族からも喜ばれ、信頼関係を構築する嬉しい達成感を感じる場面がありました。

マイ児童デイサービス（そね）では、スタッフの育成とコミュニケーションの充実に力を入れました。放課後等デイサービス事業の更なる拡充を図りました。今年度も『生活する上の基本動作の習得』を目標に掲げ、スタッフ間で来所することもたちに毎日しっかりと前もってのシミュレーションや細かな気付きなどを発信することで、話し合いの機会を持ち、全スタッフが共有（または共感）し、一人ひとりに目を配りながらプログラムを継続していくことで、理解したうえでの活動が出来たのではないかと思っています。即実行を心がけ、療育室のレイアウト変更など整理整頓をしました。

マイ児童デイサービス（はっとり）では、今年度も『あいさつをしよう』と言う目標を掲げて取り組み、毎月コミュニケーション講座というプログラムを取り入れることにより、『あいさつをする意味』『ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上』が図られました。両事業所でも、今社会問題になっている不登校、行き渋りなどがデイサービスの中で出てきています。両事業所では、保護者と面談の場を設定し、デイでのご様子を伝えながら、お互いに経過を確認しながら「どうしたら、いいのか」「彼らにとっての居場所」について考えていきました。

豊中市内でも56の放課後等デイサービス事業所（令和2年5月1日現在）が開設される中、そね、はっとり事業所とも、他の事業所との違いを明確にしつつ、豊中市で最初の民間事業所として自負を持ち、『将来を見据えた充実した療育支援の場、安心して活動出来る場』としてのサービスの提供に力を注ぎ、個別支援計画での保護者面談の際の、保護者からのアンケート結果でも概ね高い評価を得てきました。

今後も障がい児を取り巻く環境は大きく変容していくと思い、危惧しています。家庭支援や兄弟支援、また医療的ケアが必要な障がい児への支援も含め、障がい児支援についてどう関わり、どう支援をしていくのか、障がい児支援自体の質の向上をどのように担保していくのか、を考えることが大切な時期に来ているのではないか、と痛感しています。

特に、障がい児通所支援については、支援が必要な障がい児のニーズだけでなく、競争が激化しており、放課後子どもクラブや日中一時支援事業との役割分担にも留意をしながら、障がい児に対する放課後等デイサービスでの支援内容の適正化を図りつつ、提案をしていきました。

放課後等デイサービスの今後の課題

学齢期の障がい児が放課後や長期休暇中に通う放課後等デイサービスが、2012年に児童福祉法に位置づけられて以来、大幅に増えています。厚労省によると、2019年度で全国に約1万3500力所。2012年度の約3100力所から毎年2けたの伸びを続けてきました。利用者数は2019年9月で約22万8000人に達しています。急激な成長の裏には保護者の期待の大きさを反映した結果といえます。

放課後等デイサービスは、制度創設後民間事業者の参入もあって急速に増えました。その結果、障がい児の放課後の居場所がぐんと広がりました。しかし、参入してきたのはまじめに障がい児の居場所づくりに取り組む事業所だけではありませんでした。利潤だけを追求し、支援の質が低い事業所の増加が大きな問題に浮上してきました。厚労省は、職員の配置基準を厳格化とともに、たびたび、運営基準の順守を求める通知を出すとともに、自治体に監査の強化を求めるなど運営の適正化に向けた対応に躍起です。

今後も放課後等デイサービスは増え続ける見込みです。放課後等デイサービスへの期待は大きくなる一方です。運営の適正化と並行して障がい児の居場所はこれからもどんどん確保していく必要がありそうです。【参考文献：日本教育新聞2020年2月2日 特集 教員の知恵袋】

ハニー・ビー ジョブでは、昨年末に就労移行支援事業を閉所し、今年1月からは就労継続支援B型の単独型事業所として再構築しリスタートしました。B型支援の特徴が改めて見直され、見学を申し込まれる方も多くおられました。また興味を持って事業所での販売活動並びに宅配事業にもご協力くださる方が増え、「お友達からいいものがあるから行ってみて教えていただき。」とお訪ねくださいり、利用者さんが手作りした商品を手に取ってお買い求めいただける機会も増えました。また、販売活動以外にも内職（軽作業）の取り組みを始めました。

「ミスのない、納品」「障害があっても仕事に障害はない」との厳しい作業ルールを、サポートする支援員が作業にあたる利用者さんを「障害者として区別しない。」「みんなに出来る仕事作り」を念頭に置いて、個々の障害特性に応じた治具（じぐ）を工夫し、みんなで同じ仕事が出来ることから「僕にも（わたしにも）出来る。」自信を養いました。

今年度も、立地を活かした「攻める」事業展開を意識し、店頭での販売活動の充実や豊中駅構内の「なかまの店」をアンテナショップとした活動を、ハニー・ビーとしてのめざすべきものを確認し、またマイ児童デイサービスはっとりに通う利用者さんの職場実習を積極的に受け入れたことで、「繋がる支援」が出来たのではないかと自負しております。

NPO事業では、法人としての目標として掲げている『地域の方々に愛される法人』をめざして、今年度も様々な気付きに繋がる活動を展開しました。

毎年恒例行事となった『第10回サポートが必要なこどもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2019』は、7月27日28日に実施しました。今年は、晴天の下で昨年の中止から一転して魚釣りのマスからも特設プールから多くの明るい歓声が響き渡っていました。アンケートからも保護者様から「貴重な体験をありがとうございました。」と過分な評価をいただきました。

2012年より毎年開催しています「でい・しりあい・わかりあい=3あい」の大切さを地域と共有するイベント『第8回みんなでワイワイさんあいイベント』は、11月10日に豊中市服部西町のふれあい緑地の芝生広場での開催し、多くの来場があり（主催者発表、4000人）、オープニング冒頭には、豊中市長（足立佐知子副市長代読）から、ご挨拶をちょうだいし、また終盤には長内繁樹豊中市長ご本人も駆けつけていただき、楽しいご挨拶でステージを盛り上げてくださいました。

『第3回サポートが必要なこどもが主役の料理教室』は、好評により毎月1回の計6回開催し、いずれも定員の10名を越す参加があり、料理ボランティアやサポートボランティアにお手伝いをいただき、無事に事故もなく「体験値を高める」という目的を達成する事が出来ました。感想でも「初めて、親子丼ぶりを作った。」「たこ、切ったよ。」「にんじん、固い。玉ねぎ、いや！目が痛い！！」と体験したこその感想をいただきました。

また、『第3回親子療育プログラム』に関しては、昨年度までの反省を生かして、『相談だけでなく、実際に子どもたちにもアプローチでき、お母さんもホッとできる場所』をめざして活動しました。毎月1回の計6回開催し、いずれも10組以上の親子の参加と多くのボランティアスタッフの参加を得ることが出来、短時間の中、親子での関わり方を振り返る、また様々な趣向を凝らしたプログラムも好評を得ることが出来、保護者が「ホッとできる環境」とアンケートの感想にもあり、参加者からは昨年度以上の評価を得ることが出来た。ピアサポートが出来たことも大きな成果だったと思います。4事業とも、独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動事業として実施しました。

ハニー・ビーでは、毎年度当初に全体会議で理事長から活動基本方針として「ハニー・ビーの活動を進めるにあたって」を全職員に示しています。基本方針では、より信頼されるサービスの向上に向け、「職員の質の向上と専門職としてのプライド」を掲げています。

基本方針に従い、スタッフの研修機会の充実をめざして、様々な分野での見識を深めました。また、特定非営利活動法人で『働く意義』など、働くことに生きがいややりがいを実感でき

るような環境を整備して、障がい者福祉に長く関わり（働き）続けてもらえる人材の育成に取り組みました。
今後も法人のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動を続けてまいりました。

III 事業実施の状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者（児）の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、見学会

【事業名】 見学会事業

（株）あしすと阪急阪神（阪急阪神ホールディングスの特例子会社）

【事業内容】 あしすと阪急阪神では、グループの発展に貢献するとともに社員全員が仕事を通じて成長していくことを目指し、大勢の障がい者が仕事に励んでいます。今回の見学で、実際に障害者のある方の働く姿を見て、将来働くイメージを膨らませ、また支援を担当する社員さんから共に仕事を進める中での思いなどをうかがいます。

【実施場所】 大阪市北区芝田1-16-1 （株）あしすと阪急阪神

【事業の対象者】 デイサービス、B型の利用者、家族、指導員など 15名

【活動報告】 事業内容の概略などをビデオ等で解説を受けた後、あしすと阪急阪神で実際の就労場面を見学しました。事業としては清掃事業課業務、ジョブあしすと業務、総務課業務、ヘルスケア事業のそれぞれの事業で障がいを持った社員の皆さんのが、実際に丁寧な仕事（清掃業務は知的障害の方が多い）しながら、わたしたちに一生懸命説明をしてくださいました。

ジョブあしすと課では、印刷業務、メール集配業務、データ入力業務、喫茶運営業務を行っており、ティーラウンジ「パウゼ」では、お客様へのコーヒーの提供などをしていました。ヘルスケア業務では、産業マッサージ室で、視覚障害の方がヘルスキーパーとして働いておられました。

また、今回の見学を経て「体験実習」を受けた利用者さんが、令和2年3月に社員として採用されました。今回の採用に至るまでの経緯を踏まえて、私たちのやってきたことは、「間違っていなかった。」と実感することができました。

(2) 事業区分 療育支援事業

ア 【事業名】 就労支援プログラム（トレーニングジョブニトレ・ジョブ）事業

【事業内容】 本事業は、主に知的・発達障害のある子どもたちと就労体験が出来るところをマッチングし、サポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深め、また当事者も体験値を培う就労プログラムです。

【実施時期】 通年随時

【実施場所（学）】 育保学園（熊野田幼稚園、くまのだ保育園）

【事業の対象者・人数】 就労をめざす子ども達等 延べ120余名

【活動報告】 豊中市内にある事業所を中心に、12年前（法人設立前）から始めて現在も継続して活動しています。親が元気なうちはなかなか考えにくいですが、「親亡き後の障がいのある子どもの将来」を見据え、思いを馳せてみる機会になればと思っています。どうしても「迷惑をかけはしないか」と先に考えがちですが、そうしたマイナスのイメージの払拭に努めたいと思います。

実習先でのお話:「日によっては、元気な声が出ることもよくありますが、一生懸命に黙々と手を抜かずに、園児たちのために掃除する姿に『頼もしさ』また園児たちに向けられる笑顔に『やさしさ』を感じています。」園児たちにも「今日は、お兄ちゃん来ないの?」と気にしてくれて、先輩の頑張りに感謝です。

イ 【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと今年で第10回目となります。サポートが必要な小学4年生から18歳までの25名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験を行ないます。自然の中での体験を通じて、グループ活動をする際にチームワークの大切さなどを学びます。またソポーター(ボランティア)も日頃あまり出逢うことのないサポートの必要な子ども達(チャレンジャー)との関わりから理解や意識も変わっていくことに繋がればと企画しています。

【実施時期】 令和元年7月27日(土)～28日(日)

【実施場所】 兵庫県南あわじ市 ジャのひれコテージなど

【事業の対象者】 チャレンジャー・ソポーター合わせて 58名

【収益】 1,320,464円(うち助成金 878,464円含む)

【費用】 1,365,948円

【活動報告】 今年度は、昨年度中止のリベンジの意味もあり、年度当初より気合を入れて準備を進めました。初日の7月27日(土)には、早くから集合場所にチャレンジャーが集まり始め、バスに乗車し淡路島ジャのひれコテージへ。途中、強めの通り雨に少しドキッとしたが、コテージに到着までには晴天に。現地に到着して開校式というオリエンテーションをして各コテージへ。バーベキュー体験、広いお風呂体験、その後就寝。2日目の28日(日)はさわやかに起床し、ラジオ体操に始まり、朝食。着替えて釣り体験とプール体験に分かれて活動。その間にお部屋の掃除をして荷物を集合場所へ。今年は、釣り堀ボランティアの岩ちゃんにご指導をいただき『例年以上の釣果!!』。昼食は、毎年恒例の「カレーライス」とデザートにチャレンジャーからの感嘆の声!!お陰様で、お鍋は空っぽ。『美味しく、ご馳走様!!』みんなでお片付けして、閉校式。帰りに淡路島牧場に立ち寄り、お土産購入のため淡路サービスエリアでお買い物。帰りのバスの中は、お疲れなのか、とっても静か。今年も無事に事故なく終えることが出来ました。

ウ 【事業名】地域連携事業

【実施内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、服部西町にあるふれあい緑地の芝生広場を会場に今年で第8回目の開催となります。地域の住民の皆さんと『でいい・しりあい・わかりあい=3つのあい』で、障がいのあるなしに問わらず、顔の見える関係性作りに寄与できればと、近隣住民の皆さまや地域にある小中学校に広報し、本イベントを通し、子どもたちは初めての場所での初めての体験などを通じて、人と関わる成功体験から折り合いをつけることを学び取ります。裏方として準備からの関わりにも重きを置き、表舞台のステージでのパフォーマンスの練

習などを通じ、積み重ねた結果が大事だということを自ら学び、これらの体験から小さな意識変革が出来ることを目標に掲げています。

【実施時期】令和元年11月10日（日） 10時30分から16時

【実施場所】豊中市服部西町 ふれあい緑地

【事業の対象者】市民など 4,000名程度

【収益】 720,000円（うち助成金 720,000円）

【費用】 1,112,091円

【活動報告】 今年度は、子ども達も準備の段階から知恵を出すなど実際に活動に積極的に取り組むようにしました。直前の11月4日には、こども広報委員として豊中市役所での広報活動に出かけました。ご対応いただいた豊中市長、教育長をはじめ、職員の皆さんにもハニー・ビーの姿勢を感じていただけたと思っています。そのお陰と近隣の小学校と住民の方々へのチラシ配布により、「こども店長募集」にも大きな反響があり、延べ90名近くの参加がありました。日頃は出来ないであろう体験をさせてもらう中で、地域の方々との関わりを持つことが出来、嬉しい笑顔が多くみられたと同時に、受け入れてくださったテントの皆さんからも「とても、楽しかった」との感謝の感想をいただきました。

皆さんからの「また、来年逢いましょう！」と「さんあいイベント」の目標を達成することができたと実感することができました。回を重ねるごとに輪が広がり、ハニー・ビーとしては、近隣地域の人をはじめ、多くの皆さんのご協力をいただき「地域のお祭りだから回覧板でも回してあげる。」と力強い応援をいただけたことが、成功につながったのだと思います。年々賑わいと共に地域の皆さんとの関わりが出来てきており、今回も、豊島地区消防団の皆さんには、「はたらくくるま」の試乗体験の場を、地域の防犯委員さんはボランティアとして会場警備を担っていただきました。

エ 【事業名】支援が必要な子どもたちが主役の料理教室事業

【実施内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと。今年で第3回目をとなりました。サポートが必要な子どもたち自身が、保護者以外の料理サポーターをはじめとしたボランティアの人達と関わりを持ちながら、「料理を作る」楽しさを感じ、経験値を高め、日常生活の自信につながることを目的としています。

【実施時期】令和元年5月25日（土）から11月16日（土）までの間、計6回

【実施場所】豊中市立中央公民館 調理室ほか

【事業の対象者】 参加者延80名 ボランティア延50名

【収益】 369,783円（うち助成金 304,683円含む）

【費用】 369,783円

【活動報告】 多くの子どもたちが参加し、5月のお弁当作りとデザートに始まり、各回たこ焼き、変わりそうめん、バーベキュー体験、パーティー料理などと、毎回料理ボランティアさんの助けを借りながら無事に事故なく終了しました。今年度は特に「包丁を持つ、自分たちで買い出しに行く」と主体的に関わることと全員が何らかの形で取り組むようにしてみました。自ら作った料理とともに他のグループが作った分をシェアすることで「他人（ひと）のために役に立つ」ことを実感し、実際にワイワイと話をしながら食べる場面では、口々に「料理って、楽しい」「これ、美味しい！」「お家でも作る」と自画自賛。料理ボランティア、受付ボランティアの皆

さんも障がいある子どもたちの無限大の可能性を改めて感じ、双方にとっても分かり合える場が出来たのではないかと感じています。

才【事業名】親子療育支援事業

【実施内容】 本事業は、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと今年で第2回目となります。困り感のある子どもの子育てに悩んでいる就学前の子どもを持つ保護者、また小学生の保護者を対象に、相談できる場・療育の場・仲間づくりの場を提供して、子育てに悩む保護者にスタッフと先輩子育て経験者が寄り添い、不安を少しでも解消できる交流の場と子どもたちにおいては「体験値を積み重ねられる場」として『親子教室・リトハニクラブ』の名前で開催します。

【実施場所】 令和元年5月11日（土）から11月9日（土）までの間、計6回

【事業の対象者】 参加者（保護者含む）延 42名

【収益】 302,175円（うち助成金 283,175円含む）

【費用】 303,385円

【活動報告】 今年度は、昨年度の反省を踏まえて広報活動に力を注ぎました。5月に第1回目を開催し11月までの間、第2土曜日を定例日とし月一回開催し（8月除く）、今年度は6回開催しました。それぞれで遊びの中から学べるようにと課題と目標を掲げて取り組みました。

参加者はなかなか、思うように集まらず10名ほどではありましたが、お母さま同士が「仲間づくりの場」として活用していただき、「先輩のお母さまのお話が聞きたい」とのリクエストから実際に、保護者同士の交流の場も図れました。とても賑わって明るい笑い声も出ていました。

子どもたちにおいても、参加回数が重ねるごとに「笑顔が多くなる」「机に向かって集中して活動に参加できる」などのそれぞれの成長の変化が見られ、保護者の不安の解消に繋がったと感じています。更には、この事業の継続性や重要性を伝え、次年度も継続実施に向け課題を整理して、より多くの潜在的参加者に繋がる必要性を痛感しました。

力【事業名】法人設立10周年記念事業

【実施内容】 本事業は、大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業の助成を受けて、【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと、法人設立10周年を記念し、講演とミニコンサートの集いを開催。本事業では、障がいのある子どもたちや人々が、地域社会の一員として自立して暮らしていくために、互いに「であります」「しりあい」「わかりあい」の『3あい』への理解を広めることを目的として、障がい者自らが体験を踏まえて語ることを通じ、参加者が相互理解の促進に『3あい』の必要性を身近に感じ、共生社会の実現のためそれが果たす役割や行動などへの理解を深める機会を提供します。併せて、障がいのある人の可能性を身近に感じられるミニコンサートも開催します。

【実施場所】 令和元年9月8日（日）

【事業の対象者】 参加者（従事スタッフ含む）136名

【収益】 200,000円（うち助成金 200,000円）

【費用】 481,101円

【活動報告】 『法人設立10周年記念 講演とミニコンサートの集い』を、9月8日（日）午後1時からすてっぷホール（とよなか男女共同参画推進セン

ターすべて内）にて開催しました。

この集いでは、第一部のミニコンサートでは、全盲の視覚障害者として普通高校と大阪音楽大学に通われ、その後プロのソプラノ歌手として活躍されている北村多恵さんに、澄んだ歌声で素敵な歌を、寺嶋千紘さんのピアノ伴奏と共に聞かせていただきました。ご来場いただいた皆さんと一緒に歌える童謡なども織り交ぜて、少し暑さも忘れられる楽しいひとときを過ごしました。

また、第二部の講演会は午後2時から開催し、自ら脳性まひという障害があり、長年障害者の自立生活運動に携わってこられた玉木幸則さんから、自らの体験を踏まえて共に地域で暮らすために、共に学べる学校（インクルーシブ教育）の実現の大切さについてお話をいただきました。

当日、参加者の皆様からアンケートを頂戴し、その中で本集いの感想と併せて共生社会の実現に向けてのたくさんのご意見も頂戴しました。

（3）事業区分 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

ア 【事業名】 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

【事業内容】 本事業では、知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人と子どもたちへの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、利用者本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けて支援をしていきます。寄り添うことを心がけ、利用者本人と保護者のニーズに合わせたサービス、将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的役割も果たすべくサービスを実施します。

※以下、移動支援事業に同じ

【実施場所】 豊中市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】【費用】 下記（4）に、（3）（4）事業を合算し報告

【活動報告】 下記（4）に、（3）（4）事業を合わせて報告

イ 【事業名】 就労支援事業（就労移行支援・就労継続支援B型）

本事業では、就労支援事業所ハニー・ビー ジョブにおいて、障がいがあっても自立した生活が営めるように様々な知識やスキルを一人ひとりのニーズに添ったプログラムで一緒に考えて活動をしています。

「はたらく」＝作業（お仕事）を通して自立・自活に向けて生活の質や豊かさを感じられ自己実現に繋がり、その中で社会性や社会生活スキルの習得、またメリハリという意味では、余暇活動にも積極的に取り組みマンネリ化しないように、利用者さん同士のコミュニケーションの場としても力を入れています。

作業（お仕事）での自主製品作りでは、現在商品として紹介している季節のリース、マグネット、アロマストーンの他にもヘアーアクセサリーや多肉植物・観葉植物の寄せ植えなども行っています。

また、ハニー・ビー ジョブ独自の生産販売活動として、地域の商店や企業のお勧め商品を市域の皆さんの自宅や事業所にカタログを配り、注文いただいた商品の宅配と販売を通じお客様と関わる事で社会性やコミュニケーションスキルを体得し、地域で当たり前に生活できるためのスキルを学んでいます。

平成31年度・令和元年度 ハニー・ビー ジョブ 主な事業と行事

月	主な行事
4月	余暇支援（映画）
5月	ふれあい緑地フェスティバル2019・「つながる」みんなの志・社会見学：豊中市クリーンランド・火災避難鑑訓練
6月	余暇支援（映画）
7月	豊中七夕まつり・新田南夏祭り・庄内西サマーカーニバル・岡町夜店大会2019・調理実習
8月	豊中まつり・服部商店街夏まつり
9月	国際交流フェスタ・社会見学：須磨海滨水族園
10月	服部商店街ハロウィンまつり・東泉丘親子フェスタ・東豊台フェスティバル・余暇支援：服部緑地植物園
11月	さんあいイベント
12月	クリスマス会・パンつくり
1月	初詣（豊中稻荷神社）・新年会
3月	ボランティアフェスティバル
毎月	毎週水曜日 野菜販売・第2第4は宅配 第4月曜日 利用者会議 第4月曜日 青年教室（豊中市教育委員会補助事業） 軽運動・ストレッチ体操

イ-1 【ハニー・ビージョブ就労移行】（令和元年12月末に閉所）

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていくよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『社会参加は当たり前』『自立した生活が営めるよう』取り組みます。2年間にわたり様々な活動と体験の機会を通して、就労に必要な知識の習得やスキルアップのための訓練等を適切・効果的に行ない、『はたらく』力を身につけ、就労の準備から就職活動・職場定着までサポートします。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 1,075,844円

【費用】 6,324,334円

【活動報告】 今回、わたしたちのめざす、就労移行支援は、残念ながら必要としている人たちにお届けすることが困難な状況であり、これまでに様々な形で、「見学会や実習の機会」を提供してきましたが、力及ばずだったことを感じています。保護者、支援者に「もしかしたら出来るかも」に至る思いが届かず、「知的障がいのある人たち（わが子含む）は、働けない。充実した福祉施設入れたい。落ち着いて過ごしてほしい。」というお気持ちが大半で、そうした偏見は払しょくできず、残念ながら令和元年12月末に閉所することとしました。またマイ児童デイサービスに支援学校から通所している利用者で、来年度就労継続支援B型に通所する方々のために、「アセスメント実習」を受け入れ、就学が修了し就労に向けて、しっかりと「申し送り」が出来たことは、良かったと思っています。

結局のところは、受入体制の整備や維持費用等の経費が収益を上回る結果になり、閉所するという苦渋の選択をした結果は結果として、反省を踏まえつつ、寄り添う支援体制の再構築を図るため、「就労継続支援事業B型」

に思いを継続し、自信を持って諦めないで、これからも『障がいがあっても社会に出て働く』ことを推進していきます。

利用状況（定員 6 名） 令和元年 12月末に閉所

平成31年度 令和元年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
月在籍者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
開所日数	22	23	20	23	17	21	23	22	20	0	0	0	191
延利用者数	20	20	19	18	14	14	9	20	14	35	19	21	148

イ-2 【ハニー・ビージョブB型】

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていくよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある人を対象に、『はたらく』を通じて社会の一員として『自分らしく働く』『就労をとおして、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年 1 年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 16,495,217 円

【費用】 16,649,062 円

【活動報告】 今年度、就労継続支援事業 B 型では定員の 14 名を満たせませんでしたが、就労移行支援事業の閉所に伴い、令和2年1月からは定員を20名としたお陰からか、見学、実習希望者また支援者からのお問い合わせがあり、月を追って利用者が増えてきている状況です。今年度の月平均利用者数は 12.33 人でしたが、今年度末現在の利用者数は 16 名になりました。利用者の獲得に特効薬はないかと思いますが、引き続き利用者確保のため、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しつつ、諦めないで自信を持って「地域に根差した活動」を意識しながら、実際に利用者を主役において『障がいがあっても自分らしく働く』ことを色々なところで示していきます。

利用状況（定員 14 名、2020 年 1 月～定員 20 名）

平成31年 度・令和元 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	20	20	20	186
月在籍者 数	10	10	11	11	11	11	12	12	13	15	16	16	148
開所日数	22	23	20	23	17	21	23	22	20	20	20	22	253
延利用者 数	169	169	159	190	142	175	220	203	208	216	235	179	2362

イ-3 【就労支援生産販売収益活動】

【事業内容】 ハニー・ビー ジョブでは、毎日コンスタントに障がい者が 6 時間働

き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのでなく、「精神障害の人は短時間しか働けない」「知的障害の人に仕事は無理」などの周囲の偏見から、働くことを諦めてしまうことがあります。

しかしながら、ハニー・ビージョブの利用者を見ていると、店頭販売などで働き色々な体験値を積むことで、時間はかかりますが、『自分で出来る』ようになります。その姿を見て、周囲の人の意識が変わる場合も多々経験してきました。

ハニー・ビージョブでは、自主製品の製作や地元企業を中心に特色ある商品の店頭販売や宅配活動を通じ、利用者に就労の機会を提供し、特性に応じた知識や能力の向上をめざし、働く事の達成感や満足感と、生産販売活動に従事した内容に応じた工賃の支給を行います。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビージョブ就労継続支援B型の利用者

【収益】 4,080,701 円

【費用】 5,603,457 円 (うち売上原価 2,517,363 円)

生産販売管理経費 3,086,094 円)

(うち利用者工賃支給額 855,650 円、一人平均月額工賃支給額 5,155 円)

【活動報告】 今年度も、これまでの個人宅や学校等への配達、イベント出店も増やし、従来の販売に加え自主製品の製作や新たに取り扱うこだわり商品などを扱うことにより、豊中駅構内の「なかまの店」だけでなく、「ハニー・ビージョブ」の事業所（店舗）が、地域の人々と障がい者の接点となる拠点をめざし、レイアウトの充実を図りました。

事業所玄関前の店頭に「色々な商品を展示」して無人店頭販売にチャレンジしました。「むじんくん」と名付け、おやさいや腐葉土、自主製品の常設と販売場所を設置することで、お店に入るまでの新たな販路拡大を行い、工賃向上に努めました。また、A型事業所「ほんのきもちさん」の古書回収の箱を設置して、わたしたちにも出来る小さな「ボランティア活動」を地域の方々のお力添えを持って継続しています。今後も「どうしたら出来るか」を考えて新たな事業展開により、生産販売活動の拡充を図り、利用者工賃の支給額のアップをめざしていきます。

こうした取り組みを通じ、ハニー・ビージョブの地域での認知度も増し、地域の方々に販売活動を通じて働く利用者と接する機会を持つことで、お互いのマイナスイメージが払拭され更に言葉を交わし、触れ合うことによって、障がい者に対する意識も変わってきていると実感しています。なお生産販売活動状況は下表のとおりです。

生産販売活動の対象製品

自主製品の製作	スイーツマグネット・スイーツクリップ、マグネットシートセット、多肉・観葉植物の寄せ植え、ヘアーアクセサリー等、季節のリース、季節の飾り物、企業用オリジナル販促グッズ、オリジナル商品製作等
主な販売品	パン、シフォンケーキ、チーズケーキ、手包み餃子、野菜、レギュラーコーヒー、米、りんごジュース、りんごジャム、ソープフラワー・アレンジメント、洗濯用品など

販売活動「八木屋」状況

販売場所等	販売品等	個所回数
豊中駅構内 なかまの店 (豊中市福祉の店「なかま」)	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	14回
地域福祉活動支援センター	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	3か所・14回
中央薬局店頭販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・野菜など	冬期、猛暑を除く10回
ハニー・ビー ジョブ店頭販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・野菜など	月4回
八木屋宅配活動	やさい・パン・チーズケーキ・餃子など	約26軒
学校・事業所等出張販売	自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャム・野菜・パン・チーズケーキ・餃子など	4か所
豊中市厚生会斡旋販売	季節のリース・りんごジュース&ジャムなど	1回
地域イベント出店	ゲーム「さかな釣り」 パン・自主製品、多肉・観葉植物・りんごジュース&ジャムなど	16か所

(4) 事業区分 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある人や子ども達の外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援を行います。利用者本人、保護者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、吹田市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 20,974,506円【(3) アと(4) の合計】

(うち、(3) の介護給付費 11,441,928円)

【費用】 16,799,168円【(3) アと(4) の合計】

【活動報告】 (3) ア及び(4) いずれも知的・発達障がいの当事者に対して、小さなうちから将来へそれぞれがめざす「自立」（または、自律）に向けての社会参加をめざすべく、方向性等を余暇支援や成功体験の積み重ねることから認識し、その先にある『地域で生きる』『働く』ことを意識して、居宅介護、重度訪問介護、（現在は利用契約なし）並びに移動支援を行ないました。支援の中では、出来る限り利用者様にとって前向きな姿勢で物事を捉え、『地域連携』を踏まえながら成功体験を重ね、利用者の皆さんのが自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや幸福感、充足感が持てるよう、心がけました。

また第三者である私たちヘルパー（家族外）との『信頼して託していただ

ける』関係性を構築することをめざしました。一つひとつのかかわり（ご縁）を大切にし、その小さな積み重ねが自信に繋がるだけでなく、将来にわたって繋がりまた拡がるものと思い、活動をしました。令和2年3月からはコロナウィルス「緊急事態宣言」が発令されたことにより、「命を守る」との行政からの自粛要請もあり、事業を自粛（縮小）しました。

（5）事業区分 児童福祉法に基づく障がい児通所支援事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

（マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり）

【事業内容】 本事業では、主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、しっかりとした個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にて放課後等デイサービスの提供を行っています。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童（生徒）を対象にしており、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げニーズにあった支援を提供しています。

学齢期にある児童の発達を促し、将来を見据えた社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるよう、個別療育と集団の中で培うことの出来る週間プログラムによるグループ療育の2面で支援を行ないます。

保護者はもとより、子どもたちにも分かりやすい家庭でも取り組める様な『療育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立（自律）へと促せるように寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 (そね) 21,347,298 円 (はっとり) 31,292,627 円
計 52,639,925 円

【費用】 (そね) 20,610,052 円 (はっとり) 19,393,827 円
計 40,003,879 円

（ア）マイ児童デイサービス（曾根事業所）

【活動報告】 近年、全国的に放課後等デイサービスの事業所が乱立し、豊中市内でも（令和2年5月1日現在）56の事業所があります。そのような中、厳しい人材確保のもと、スタッフのスキルアップを図りました。安定しない人員体制のもとで、大きな事故トラブルも無く、平成31年度・令和元年度を終了する事ができたことは、スタッフの努力の賜物だと改めて感謝しています。多くの事業所がある中で、マイ児童デイサービスでの療育支援を「うちの子に受けさせたい。」と思ってくださる保護者に支えられ、小学校でも「ハニー・ビーさんは、療育というところに特化して子どもたちを支えてくれている。」とお褒めの言葉をいただきました。そうした方々の期待に応えられるよう、『生きていく上で必要な療育支援』を基軸として、新しいプログラムを取り入れ『更に一步踏み込んだ療育』へと進めていきました。例えば毎週変わる『週間プログラム』についても『来所したからには、必ず参加させ、やらせなければ。』という事ではなく、スタッフ間で一人ひとりの課題を整理し、それぞれの子どもの状況をしっかりと把握したうえで、『個

別支援計画』に基づき、『子どもたちの状況を見て（わたしたちが）何をすればいいか』と考え、どのような形で取り組むのかなど、予め毎のミーティングでシミュレーションしたうえで、『その日の子どもたちの体調や調子』などを観察し、参加の仕方を工夫し、またプログラムを子どもの状態に合わせて修正し進化させています。

様々な場面で、「将来も地域で生きる、社会参加」をめざした療育を行えるようになってきました。これからも保護者のニーズをうかがいながら、子どもたちが『なりたい自分になる』という夢や希望が持てるよう、またその期待を担うべく『ハニー・ビー』スタッフが一丸となって、個々の子どもたちに合った療育を提供していきます。

【平成31年度・令和元年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	154	175	167	183	130	192	196	189	161	152	149	130	1,978
利用日数	22	23	20	23	17	21	23	21	20	20	20	22	252

平成31年度・令和元年度 週間プログラム（主な内容）

平成31年 4月	文字・言葉「自己紹介カード」、体操「手足ぴったんこ」、クラフト「つくってあそぼう」、生活「手洗いチェック」など
令和元年 5月	合同療育：春の遠足 クリーンランド社会見学 食育「季節のおやつ作り」、運動「リトミック」、ヨガ レクリエーション「みんなと仲よく」など
6月	クラフト「壁面作り（夏を作ろう）」体操 ダンス、クラフト「七夕の準備」、レクリエーションなど
7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」体操 夏祭り関係 クッキング、クラフト「夏祭り準備②小物作り」、ボランティア活動「いも畠の水まき」など
8月	クラフト「秋の壁面制作」、夏祭り週間「夏祭りの前週祭」、ゲーム、夏休みの樂しい思い出「絵日記作成」など
9月	さんあいイベントに向けての舞台でのダンス、音楽「みんなで歌おう」ダンス、クラフト、リズム遊び「みんなでおどろう！」、レクリエーション、伝承あそびなど
10月	クラフト「実りの秋」、食育「お弁当作り」、生活課題「生活に必要なことを学ぼう」、体操「身体を動かそう！」、クラフト「秋の壁面制作」など
11月	ボランティア活動 文字・言葉「芸術の秋」、特別課題「避難備蓄訓練」、クリスマス会準備「プレゼント作り」、レクリエーション「秋を楽しもう！」など
12月	クラフト「クリスマスの飾り作り」、「クリスマスプレゼント作り」、ダンス「クリスマスに向けて」、生活「年賀状作り」、合同療育「クリスマス会を開催」など
令和2年 1月	合同療育、書道「書き初め」、「初詣」、生活「新年の抱負&お正月遊び」「絵馬、福引きなど」、ダンス「レッツダンス」、クラフト「節分だ！鬼のお面作り」など
2月	レクリエーション「豆まき」、食育「バレンタインチョコ」、運動「寒さに負けない体力づくり」、クラフト「春の壁面制作」など
3月	レクリエーション「おともだちとつながろう」、ダンス 運動「ダンス1年総復習！！」、文字・言葉「卒業・進級の抱負」、生活「進級卒業お祝い会」など

（イ）マイ児童デイサービスはっとり（服部事業所）

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生3年生を対象とした放課後等デイサービスを提供しました。特に意識していたのは、それぞれの利用者に対して、個々に対応した個別支援計画を作成し、日々の活動

の中で、掲げた計画を指導員数名の目でチェックし、「どうしたらできるか」を、グループでする療育と個別にする療育（自立課題）それについて、各人の個別支援計画に基づき、毎日のプログラムと週間プログラムを変化させながら対応していきました。

その中でも、プログラムの中でただ作業をするのではなく、「あいさつ」や「ホウ・レン・ソウ」を常に意識することで、「はたらく」＝そば（ハタ）の人を楽（ラク）にすることを念頭において、行動出来るように環境を整備しました。

昨年に引き続き、今年度も2名の利用者が支援学校卒業後の「繋がる支援」ということで、通所先に「ハニー・ビー ジョブB型」を選んでもらえたことは成果だと大変喜んでいます。また、卒業生が令和2年3月に、在阪の特例子会社に就職出来たことは、基本本人の努力の成果ですが、私たちの自信にもなりました。

- ① 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・お金の理解・クッキング・クラフト・身体を動かすなどの項目を、その季節にあった内容で作成し療育支援しました。
- ② 土曜日デイのプログラムを更に4月から充実させました。

第1週目 プレ就労 電車編（自分で切符を買い、マナーを守って電車に乗ることで、自信を持って行動できるようになる。）

第2週目 就労プログラム（選抜メンバー）12名は、挨拶や自己紹介などを継続して行うことで、その場に応じた対応が出来る様になる。

また、作業練習においては「何のために、必要なのか。」「どうしたら、いいのか。」困ったことを大人（指導員など）に伝えることや、成功体験を積み重ねることで、指導員との間で信頼関係を構築する。

また、障害のある方々が実際に働く現場での職場実習を体験し、「とても役に立った」と感謝のお言葉もいただいた。

第3週目 プレ就労 クッキング編（自分で昼食が作れるようになれば、最終的に人（家族）のために料理を作ることも出来るようになる。）

第4週目 学習支援 生きていく上で必要な生活を含めたスキルを身に付ける。数字や文字、言葉の習得が難しいメンバーから実年齢に応じた学習（勉強）のサポートが必要なメンバーまで幅広いメンバーがいる中で、個別に対応しました。

【平成31年度・令和元年度 利用者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
利用者数	236	245	226	261	170	237	247	240	220	226	199	210	2,717
利用日数	25	25	24	25	20	24	26	23	22	24	23	25	286

平成31年度・令和元年度 週間プログラム（主な内容）

平成31年 4月	運動「そこでうんどうしよう」、仕事・生活「そうじを学ぼう」、 体験「新入生歓迎会・オリエンテーション」、数字「お金の理解」など
令和元年 5月	体操「ストレッチをしよう」、生活・仕事「そうじ道具の使い方」、数字「お金の理解」、 クラフト「家族へのプレゼント」など

6月	体験「野菜を育てよう」、マナー「あいさつ練習」、生活・仕事「そうじ道具の使い方」など
7月	文字・言葉「七夕の短冊作り」、クラフト「夏祭り準備」、数字「お金の理解」など
8月	クラフト「夏祭りの準備」、レクリエーション「夏祭り」など
9月	マナー「あいさつ練習」、体験「選漢筋川練」、数字「お金の練習」など
10月	クッキング「秋のクッキング」、生活「あいさつ練習」、クラフト「ハロウィンクラフト」など
11月	クラフト「壁面製作」、数字「お金の理解」、生活「お金の理解」など
12月	生活「あいさつ練習」、クラフト「クリスマスプレゼント」 合同療育 レクリエーション「クリスマス会」など
令和2年	クラフト「壁面製作」、合同療育 書字「書初め」「初詣」
1月	生活「あいさつ練習」、クラフト「節分の準備」など
2月	レクリエーション「豆まき」、クラフト「紙ヒコーキをつくろう」、体験「選漢筋川練」など
3月	クラフト「壁面製作」「アルコム作り」、レクリエーション「お別れ会」、 マナー「あいさつ練習」など

(ウ) 就労プログラム(服部事業所)

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生 3 年生を対象に、就学中から働くことの達成感や充足感をより身近に感じ、更なるキャリアを積み上げることを目的として、選抜制の形を取り、就労プログラムを実施しました。参加しているメンバーも、平常のデイサービスとは「違うもの。ちょっと頑張るもの」と考えているようで、行動にしてもまた時間配分にしても時計を意識してメリハリのある活動になっていたように思います。

就労プログラムの卒業生が、令和 2 年 3 月に特例子会社に就職したこともあり、勿論本人の頑張りがあってのことですが、スタッフの大きな自信になりました。

平成31年度・令和元年（2019年度）就労プログラム実施計画

法人としての ビジョン	障がいがあっても社会参加は当たり前 みんなにやさしい共生社会の実現
重点目標	働く意識の向上をめざすために 職場体験を実施する
課 題	挨拶、コミュニケーション（報告・連絡・相談 ホウ・レン・ソウの実施） 聞くこと、尋ねることの重要性、集中力の習得、根気強さ、 時間を守るなど労働習慣と作業する力をつける
具体的な活動内容	自分の名前、生年月日、住所、保護者の名前などが言える、書ける 挨拶が出来る（T P Oに応じて、意味を理解して使い分ける。）、 自己紹介（臨機応変に対応できる。） 清掃をする（正しいやり方、要所を伝えてしっかりと取り組む。）
毎月の内容	今までの挨拶の練習、自己紹介カード、振り返りは継続して行なった。 月1回実施 10名限定 指導員3名（少人数で） 今回は、公共交通機関を使って兵庫県西宮市の実習先まで行き、 (指導員同行) 無事に帰ってきました。 長期休暇中の平日 夏休み 3日～5日間、冬休み 2日間 身近な実習先から実際の職場体験をする 【実習先】(大阪府庁公館での夏の実習は、ありませんでした。) ・阪神友愛食品 延べ5名(冬の参加者) 人との関わり、清掃作業、もの作り、接客、販売などを体験する。

平成31年度・令和元年（2019年度）就労プログラム年間実施状況

平成31年 4/13（土）	身だしなみ、ビジネスマナーについて学ぼう 働くということは？ 作業実習 6種類の作業チェック① 5月のお仕事体験の話を聞く 菜の花デイサービス（高齢者デイサービス） 豊中市スポーツ振興事業団など見学
令和元年 5/11（土）	菜の花デイサービス作業、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
6/8（土）	菜の花デイサービス作業、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
7/13（土）	宿泊体験の準備作業 指示を聞いて自分勝手に行動しない。 数量確認、名札つくり、備品準備など
8/9（金） ～ 8/23（金）	職場実習体験 大阪府庁 希望者がなかったので、実施せず。 阪神友愛食品 物作り、清掃作業等に 数名参加 ハニー・ビー ジョブ クラフト、自主製品作り、さかな作り
9/14（土）	作業実習 6種類の作業チェック①、夏休みの振り返りなど
10/12（土）	菜の花デイサービスお仕事、豊中市スポーツ振興事業団清掃作業など
11/9（土）	イベント 看板作り、名札作り、備品の準備など ねらい：10日開催の「さんあいイベント」のためのイベントの準備や 当日の司会補助、当日までの準備調整など
12/14（土）	クリスマスカードの作成、その他 ねらい：人のために、仕事をすることの喜びを感じる。みんなで協力して、やり遂げる ことで、達成感を得ることで自信を繋げる。また、感謝される喜びを実感する。
12/23（月） ～ 12/26（木）	阪神友愛食品㈱にてリサイクル作業 延べ5名参加（希望者のみ）
令和2年 1/11（土）	作業実習 6種類の作業チェック① 2月の昼食作りのための話し合い ねらい：3つのグループに分かれて昼食の献立を立てる。 みんなで考えて、実際に買い物に行き（@400円×人数分）、料理を作つ て、みんなで楽しく食べ、片付けもする。計画性、協調性を養う。
2/8（土）	チーム別調理実習、3月の準備など ねらい：計画を立て、考えた献立を実際に作って、食べよう。協調性を養おう。
3/14（土）	まとめ、発表、みんなで卒業生を囲んで、記念撮影 ねらい：1年を振り返って、様々なプログラムの中でそれぞれのメンバーの良かったことなど を称賛しながら、皆勤者、また卒業生を労い（花束贈呈）、来年度への 士気を高める。

☆平成31年度・令和元年度 就労プログラム 一日の流れ 【基本パターン】☆

13:00	手洗い、うがい、保護者からの聞き取り（健康状態など） 連絡帳提出、出勤簿記入、トイレなど
13:10	挨拶ことば、自己紹介
14:00	その日のプログラム①
15:00	おやつタイム・休憩
15:10	トイレに行くなど 時間の意識（時計を見る、時間配分）
15:15	その日のプログラム②

16:15	清掃作業
16:30	1日の振り返り 感想（書いて発表）
16:50	終了 挨拶、出勤簿記入
17:00	お帰り その日の様子を保護者に伝える

(ウ) マイ児童デイサービス合同開催行事

令和元年 5月	春の遠足（そね・はっとり合同） 豊中伊丹クリーンランド 【感想から】底が見える床にビックリした。きれいなごみ処理場にビックリした。広場でおやつを食べたのが楽しかった。
5月	保護者交流会（そね・はっとり、アプリコット・相談支援合同） 大阪府子ども家庭サポーター 辻 由起子さん 講演 「学んで、真似て、そして幸せになる。～自己肯定感を上げる～」 本講演会には、講師の辻さんの多くの「ゆっこファン」がおられ、年一度の交流会を楽しみにしておられます。講師の辻さんは、日々困難を抱えるシングルマザーや子どもたちのものと駆けつけ、また今回の講演「自己肯定感」については、保護者から要望のある課題で、お話を進むうちに、参加者の顔が輝き、企画をしたわたしたちも安堵しました。子どもだけでなく、わたしたち大人も「自分のことが好き」でありたいと願っています。 【感想から】今回も、今日から役立ついいお話を聞きました。生活の中で、「やって当たり前」との重圧に押しつぶされそうになることがあります。でも今日のお話を聞いて、「自分らしくて、いいんだ」と勇気をいただきました。有り難うございました。
10月	サツマイモの収穫（豊中市スポーツ振興事業団主催）（そね・はっとり合同） 毎年、「とよすぽ イモプロジェクト」に参加し、今年もサツマイモの苗植えから参加して、収穫を楽しみにしていました。昨年度は災害や台風の影響もあり、残念ながら収穫祭が中止になったので、今年は待ちに待った芋ほりとなりました。土に親しむ機会も少なく、また各人が「自分のおいも」を掘ることも貴重な体験の場となりました。
12月	クリスマス会（そね・はっとり合同） 豊中市障害福祉センターひまわりで、イオンディライトアカデミー(株)のボランティアのご協力のもと、クリスマス会を開催しました。 曾根事業所からはそねっ子のパプリカの歌とダンス。ボランティアによるマジックショーがあり、会場内はクリスマスカラーに染まりました。 今年は少し趣向を変えて、ケーキ作りからサンタさんのブーツ作りに変更。 その後の、サンタさんとトナカイさんの登場で子どもたちは大喜び！！ 子ども達が一生懸命に作ったプレゼントの交換もありました。記念写真でお開きとなりました。みんなの笑顔がたくさんクリスマス会となりました。

(エ) マイ児童デイサービス共通事項

マイ児童デイサービス（そね）、マイ児童デイサービスはっとりの両事業所では、保護者評価並びに事業所自己評価を実施し、法人のホームページページにその結果を公表しています。今後とも、日々業務の見直しを行い、「選んでいただけるサービス」の向上に取り組み、適正なサービスの提供に努めます。この機会をコミュニケーション図る絶好の機会と受け止め積極的に信頼関係を構築していきます。

令和2年3月からはコロナウイルス「緊急事態宣言」が発令されたことに
より、「命を守る」との行政からの自粛要請もあり、事業を自粛（縮小）し
ました。

（6）事業区分 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 障がい者の就労・職域開発事業

【事業内容】 毎日コンスタントに障がい者が6時間働き続けられる環境づくり、仕
事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある人たちに
出来るお仕事を探求しています。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『どうせ、出来ない。』との周囲の
偏見から働くことを諦めてしまうことがあります。

しかしながら、実際に支援を受けながらも、働き・体験値を積むことで、
意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また就
業環境を広く知ってもらいたいという意味を込めて、障がい者の就労・職
域開発事業を推進する役割をしっかりと果たしてまいります。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働く～』の
ハニー・ビーの理念のもと、障がい者と健常者が共に同じ職場で継続的に
働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える人たちを
採用し、一人ひとりの特性を活かした就労に繋がる育成をしてきました。
令和2年3月末日現在、放課後等ディサービス事業所で2名の障がいの
ある職員が健常者と共に自らの職務をこなし、法人の職員として、事業の
推進に貢献しています。

ハニー・ビーでは、障がいのある職員と支援する職員の就労環境を検証し
ながら、今後とも事業を支える人材となる障がい者に対し、就労の機会の
提供に努め、人材育成の職場環境の整備に一層努めてまいります。また、
ハニー・ビー ジョブB型では、他の就労継続支援A型事業所の事業者
さんからの「障害のある方が働く現場」としてや実習体験の場として受け
入れるなど社会貢献も図っています。

（7）事業区分 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業

（8）事業区分 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

（9）事業区分 児童福祉法に基づく障がい児相談支援事業

【事業名】相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 これらの事業では、主に知的・発達障がいのある人を対象に、利用者
の意思及び人格を尊重して、子ども達の将来に関わる相談に応じ、常に利
用者の立場に立った適切な計画を立てていきます。当事者や家族と共に相
談をしながら、「どのような暮らしがしたいのか」「そのためにはどの様な
サービスが必要か」などについて、福祉・医療・教育・仕事・住まいなど
の総合的な視点から一人ひとりにあった支援計画を作成します。

障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え方支援
をしていきます。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・ご家族等

【収益】 10,099,619 円

【費用】 4,276,103 円

【活動報告】 障がいのある人たち、特に障がい児に特化したサービスの提供を大切に、知的・発達障がいのある人や子ども達の将来に関わる相談に関する利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談、寄り添う支援を心がけながら、支援計画立てさせていただきました。ただ、「今までやったことがない」という課題に関する実際に「やってみよう！」の言葉を引き出すまでには、本人の特性も理解しつつ、「どうやったらできるだろう」の方策を考え、お伝えし理解をいただくことに尽きると思います。時間はかかりますが、利用者の将来の自立した姿を思い描きながら、利用者本人や家族の思いやお話を傾聴し、利用者さん自身が「これから、どのような暮らしがしたいのか」生活自体の彩りがあり、その中でささやかでも楽しさが見えてくるような、利用者とその家族に寄り添った相談に心がけました。

実際に、様々な利用者さんがおられ、本当の思いを聞くまでには相当が必要であったり、離れて暮らす方との調整を図ったり、障害があるがゆえに理解が乏しく、間違った認識のまま進めて困難ケースになるケースもありました。

(10) 事業区分 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【収益】 2,039,540 円 (受取会費 696,000 円含む。)

【費用】 177,408 円

(ア) 【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 ハニー・ビーの理念である『障がい者の自立・就労の意義』を普及するためのネットワークを構築するべく、豊中市をはじめ周辺自治体を含め啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 豊中市内、大阪市内、周辺自治体

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障害福祉事業所、企業、行政機関、地域団体、NPO など

【活動報告】 ハニー・ビーでは、各事業を展開する豊中市等の行政機関をはじめ、協力関係にある大阪 NPO センターなどからの支援をはじめ様々な事業所とネットワークを構築することに努めてきました。今後も、理事長だけでなく理事、スタッフなど様々な人材（人財）がハニー・ビーの代表者となりミツバチのように色々なところへと媒介していくことに取り組んでまいりました。

(イ) 【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第 126 号から 136 号まで発行しました。沢山の皆さんと出逢い、お話をさせていただく事で、ハニー・ビーの活動に興味を持っていただけたと自負しております。その中で、もう、10 年来のお付き合いをいただき、お顔をあわせる機会は少なくとも、月に一度は送らせていただくことによって、『頑張っているのだな。』『逆に元気をもらった。』との感想をいただき、嬉しい限りです。これからも継続は力なり、一生懸命皆さんとのご縁を感じながら、繋げて行きたいと思います。

(ウ) 【事業名】 職員研修事業

【事業内容】 ハニー・ビーでは、当法人の運営理念を全職員が認識し「選ばれるサービス」を目指し、知識と技能を兼ね備えた業務遂行能力の向上を図るため、毎年「職員研修実施方針」を定め、すべての職員を対象に研修を実施します。

【実施場所】 当法人事業所等

【実施日時】 基本毎月

【事業の対象者】 当法人職員、その他必要と認める関係者

【活動報告】 平成31年度・令和元年度(2019年度)は、「職員研修実施方針」

に従い、運営理念、事業関連、安全管理等の研修を実施しました。

2019年度1回目の研修として、全体会議の中で理事長からの「ハニー・ビーの理念と基本方針」について時間をいただきました。その中で、「ハニー・ビーを何故、立ち上げたか」「どうして、放課後等ティービスの重要性を思って開所したか」など職員の皆さんに、理事長の立場としてではなく、共に障がいのある方々の支援を行なうものとして知っていただきたいことを共に歩んでいただきたい気持ちを込めてお伝えしました。

その後の基本月1回の研修も、職員がスキルアップを図るためにぜひ習得してもらいたいものを選んで実施しました。

年度最後の3月は、例年救急救命講習を実施していましたが、今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、やむを得ず急遽中止しましたが、状況を見ながら、早急に再開したいと考えています。

平成31年度・令和元年度 研修実施状況

敬称略

研修実施日	研修テーマ	研修講師(敬称略)	研修対象	受講人数
31. 4. 1	ハニー・ビーの理念と基本方針	理事長	職員	29
R 1.5.14	学んで、真似て、そして幸せになる。～自己肯定感を上げる～	府子ども家庭サポーター 辻 由起子	職員、保護者等	22
R 1.6.18	児童虐待について	豊中市こども未来部こども相談課 社会福祉士 中道 育子	職員	10

R 1.9.8	「3あい」記念講演会	西宮社会福祉協議会 係長 玉木 幸則 ソプラノ歌手（視覚障害者） 北村 多恵	職員・ 一般公募	24 109
R 1.11.19	障害のある子どもの喫食行動の特性について	宝塚大学看護学部 教授 尾ノ井 美由紀	職員	14
R 2.1.23	災害図上訓練（D I G） (災害時の避難を想定した地図づくり)	(特非) ハニー・ビー 事務局長 赤尾 健治	職員	14
R 2.2.20	障がいのある人を雇用する企業が求めていること	ANA ウィングフェローズ・ヴィ王子(株) ANA ドキュメントセンター 府高 直人	職員	19
R 2.3.19 R 2.3.24	救命入門講習（放デイ） 普通救命講習（ジョブ） (感染予防のため 急遽中止)	応急手当普及員・ 豊中市消防局救急救命課	職員 職員・利用者	10 15 (予定)

IV 社員総会の開催状況

第10回通常総会

(日 時) 令和元年6月27日（木）19時から19時45分

(場 所) 豊中市本町6丁目8-1 金岡ビル2F 多目的室

(出席者数) 17名（うち委任状出席者10名）【社員総数 21名】

(内 容) 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認

第2号議案 平成30年度決算承認並びに監査報告の件

審議の結果、全員一致で可決承認

報告事項

平成31年度・令和元年度事業計画並びに予算についての報告

V 理事会その他の役員会の開催状況

(理事会は、注釈無しの場合は豊中市本町6丁目8-1金岡ビル2階 理事長室にて開催)

	開催日・出席理事数	決議事項・報告内容等
第1回理事会	平成31年4月25日(木) 4名	決議事項 ・第10回定時総会の開催日程について 報告事項 ・平成30年度計算書類（仮決算状況）
第2回理事会	令和元年5月30日(木) 4名	決議事項 ・第10回定時総会の開催について ・30年度事業報告及び決算書類の 総会提出（総会議案）について 報告事項 ・6月一時金支給について ・4月の活動状況について
第3回理事会	令和元年6月27日(木) 4名	決議事項 ・2019年度事業計画並びに 2019年度活動予算について

			(第10回総会報告事項) 報告内容
第4回理事会	令和元年7月25日(木) 4名	決議事項 報告事項	・5月の活動状況について ・休職期間満期に伴う退職扱いについて ・ジョブの新規送迎車の購入について ・法人設立10周年 職員への記念品の配布について ・2019年度第一四半期の活動状況について
第5回理事会	令和元年8月22日(木) 4名	決議事項 報告事項	・有期従業員就業規則の改定 ・賃金規程の改正について (第19条役付手当) ・7月の活動状況について
第6回理事会	令和元年9月26日(木) 4名	決議事項 報告内容	・パート従業員の賃金改定について ・8月の活動状況について
第7回理事会	令和元年10月24日(木) 4名	決議事項 報告事項	・なし ・9月及び上半期の活動状況について
第8回理事会	令和元年11月28日(木) 4名	決議事項 報告事項	・令和元年12月一時金の支給について ・10月の活動状況について
第9回理事会	令和元年12月26日(木) 4名	決議事項 報告事項	・複合機(事務局・アプリコット)の更新について ・11月の活動状況について
第10回理事会	令和2年1月30日(木) 4名	決議事項 報告事項	・なし ・12月の活動状況について
第11回理事会	令和2年2月27日(木) 4名	決議事項 報告事項	・なし ・新型コロナウイルスの影響について ・1月の活動状況について
第12回理事会	令和2年3月26日(木) 4名	決議事項 報告事項	・なし ・2月の活動状況について